

Android アプリ

BM スマートターミナル

Ver1.1.4 操作説明書

2019年9月27日

ケージーエス株式会社

(ご注意)

・本ソフトウェアを外出中に利用される場合は、周囲の安全の確保に充分ご留意の上、自己責任でご使用ください。

このアプリの使用に関連して、万が一事故やトラブルが発生した場合、ケージーエス株式会社は、発生した問題、並びに損害に対して、いかなる責任も負わないものとさせていただきます。

・本アプリは、無料アプリとして配布しています。アプリ内課金もありませんが、通常データ通信料は発生しますので、ご注意ください。

・本アプリの機能、および本マニュアルの記載内容は、予告なく変更することがあります。

・本文書中に記載の会社名、システム／サービス名、製品名は、それぞれ、各社の登録商標、または商標です。

目次

この文書は、以下の構成になっています。

はじめに

1. 1 特長

〔専用アプリ機能〕

〔点字操作支援機能〕

1. 2 動作環境

1. 3 機能概要

1. 4 アプリ使用上の注意事項

〔プライバシー情報の取り扱いに関するご注意〕

〔アプリで必要な権限について〕

〔自動画面オフのロックについて〕

〔ブルートゥースの自動切断について〕

〔このアプリで使用しているオープンソフトウェアについて〕

2. アプリの管理

2. 1 インストール

2. 2 セットアップ

2. 3 起動と終了

2. 4 アンインストール

3. 専用アプリ機能

〔画面上のテキスト情報を保存しておいて、後で参照する〕

3. 1 電話を掛ける

〔クイックダイヤル〕

3. 2 インターネットメールの送受信を行う

3. 2. 1 メールサーバを設定する

3. 2. 2 メールを送信する

3. 2. 3 メールを受信する

3. 2. 4 メールフォルダを開く

3. 2. 5 クイックメールを使う

3. 3 端末の連絡先を編集する

3. 4 WEB ブラウザでインターネットを閲覧する

3. 4. 1 WEB ブラウザの操作

3. 4. 2 URL を開く

- 3. 4. 3 前後のページに移動する
- 3. 4. 4 閲覧しているページをお気に入りに登録する
- 3. 4. 5 ダウンロードフォルダを開く
- 3. 4. 6 各種一覧表示機能
- 3. 5 マイクから録音する
 - 3. 5. 1 音声録音ウインドウ
 - 3. 5. 2 音声再生ウインドウ
- 3. 6 音声認識により、簡単なメモを記録する
- 3. 7 ダウンロードフォルダの操作
 - [スマホ用の USB メモリーについて]
- 4. 点字操作支援機能
 - 4. 1 一般アプリの画面を点字表示する(ユーザー補助サービス使用)
 - [アクセシビリティとテキスト編集ビュー]
 - [アクセシビリティの操作]
 - [A]キーボード操作
 - [B]擬似タッチ操作
 - [C]ウインドウ内の移動
 - [D]項目の操作
 - [E]読み上げの操作
 - [F]編集操作
 - [G]グローバル操作
 - [H]アプリショートカット
 - [I]音の操作
 - [J]その他の操作
 - 4. 2 一般アプリのテキスト編集を行う(仮想キーボード使用)
 - 4. 3 いろいろな接続方法
 - 4. 3. 1 ブルートゥースキーボードを使った接続
 - 4. 3. 2 BM スマート側からの接続
- 5. その他の機能
 - (1)クリップボード上のテキストデータを相互転送する
 - (2)音声認識により、BM スマートにテキスト入力する

はじめに

1.1 特長

このソフトウェアは、当社の点字ディスプレイ BM スマートをご利用頂いているお客様に、アンドロイドスマートフォンの機能をより快適に活用頂くためのものです。

GooglePlay などから、お持ちのアンドロイド端末にインストールしてご使用ください。

このソフトウェアは、大きく分けて、以下の「専用アプリ機能」と、「点字操作支援機能」の二つの機能から構成されています。

〔専用アプリ機能〕

専用アプリにより、電話やメールなどの基本機能を使いやすくします。

スマホ単体使用時は、音声ユーザーにとって特にハードルの高い文字入力や、日本語変換の操作を、音声認識機能を活用することにより、手軽に操作できるように構成しています。

また、BM スマートをBluetoothで接続した時は、同じアプリ機能を、BM スマート側の操作で利用できます。

(WEB ブラウザ機能は、Bluetooth接続時のみご使用頂けます)。

〔点字操作支援機能〕

一般のアプリを操作している時も、スクリーンリーダーが読み上げる内容や、その画面上の位置を、BM スマートの点字表示で確認できます。

また、テキストの入力は、BM スマートのテキスト編集機能で作成したものを、スマホに一括転送できます。

これらの機能に必要なユーザー補助サービス、および仮想キーボードは、このソフトウェアに組み込まれていますが、サービスを有効にするために、それぞれシステムに登録する操作が必要です。以下の「セットアップ」の項で説明する操作を行ってください。

なお、このアプリは、ブルートゥース接続を使用するため、スクリーンリーダーの点字表示機能である、BrailleBack とは併用できません。

1.2 動作環境

このソフトウェアは、以下の要件を満たすAndroidスマートフォンでご使用ください。

新規購入で、機種を選択に迷われる場合は、Google 社の純正機をご検討ください。

- GooglePlay からアプリをインストール可能な機種(必須)。
*NTTドコモ社の「らくらくスマートフォン」の一部機種などでは、インストールできません。
- ブルートゥースSPP接続(ブルートゥースクラシック SerialPortProfile)が利用可能な機種(必須)。
- Androidバージョン 6~9(必須)。
- スクリーンリーダー(AccessibilitySuite, TalkBack など)が利用可能な機種(必須)。
*このアプリは、Google 社のアクセシビリティジェスチャが利用可能な環境を想定しています。

- 日本語の音声出力、および音声認識が可能な機種(必須)。
- ユーザー補助サービスが追加可能な機種(必須)。
*NTTドコモ社の「らくらくスマートフォン」の一部機種などでは、追加できません。
また、端末がユーザーのカスタマイズを想定していない場合、思わぬ所で不具合がでることがあります。
- 仮想キーボード(ソフトキーボード)が追加可能な機種(必須)。
- [ユーザー補助機能]ボタンが利用できる機種(推奨)
*Android8.0より、Google社純正機種など一部の端末では、画面下部の「システムナビゲーションエリア」に[ユーザー補助機能]ボタンが表示されます。
本アプリでこのボタンを利用すると、登録済みのBMスマートに接続したり、画面上のテキスト情報を保存しておいて後で参照することができます。
同様の操作は、外付Bluetoothウースキーボードからも行えます。

1.3 機能概要

このソフトウェアでは、以下の機能が利用できます。

[専用アプリ機能]

一部の機能を除き、スマホ単体、およびBMスマートと接続して、利用できません。

- (1)電話を掛ける。
- (2)インターネットメールの送受信を行う。
- (3)端末の連絡先を編集する。
- (4)WEBブラウザでインターネットを閲覧する(BMスマート接続時のみ)。
- (5)マイクから録音する。
- (6)音声認識により、簡単なメモを記録する。

[点字操作支援機能]

BM スマートと接続して利用します。

(7)一般アプリの画面を点字表示する(ユーザー補助サービス使用)。

(8)一般アプリのテキスト編集を行う(仮想キーボード使用)。

〔その他の機能〕

BM スマートと接続して利用します。

(9)クリップボード上のテキストデータを、BM スマートと相互転送する。

(10)音声認識により、BM スマートにテキスト入力する。

1.4 アプリ使用上の注意事項

〔プライバシー情報の取り扱いに関するご注意〕

このソフトウェアでは、音声認識(音声→テキスト変換)に、Google 社の無料版音声認識サービスを使用しています。

このサービスでは、録音した音声は Google 社のサーバに送信され、音声認識後のテキストがご使用の端末に返送されます。

この際、送信した情報は、Google 社において、同社のプライバシーポリシーに沿って、他の目的で再利用される可能性があります。

また、各種 SNS サービスを利用する場合や、ブラウザで WEB ページのフォームに情報を入力する場合も、同様に、入力した情報がサービスを運営する企業や団体によって再利用される可能性があります。

各社のプライバシーポリシーをご確認の上、お客様のプライバシーの保全に充分注意して、ご使用ください。

〔アプリで必要な権限について〕

このアプリをご利用頂くためには、以下の権限の承認が必要です。

アプリの初回起動時に、指示に従って、許可の操作を行ってください。

- ストレージ
- マイク
- 位置情報
- 電話
- 連絡先

〔自動画面オフのロックについて〕

このアプリでは、ブルートゥースを接続して、専用アプリ機能进行操作している間、スマホの画面が自動的にオフにならないようにロックしています。

これは、BM スマート側の操作のみでアプリを利用しつづけられるようにするためです。

一般アプリを操作している時は、端末の設定に従って、画面も一定時間経過後にオフになります。

画面がオフになってもブルートゥース接続は維持されますが、BM スマートを操作しても、すぐにアプリが反応できなくなります。

テキストの編集など時間の掛かる操作中に画面がオフにならないように、端末の設定を適宜調整してください。

〔ブルートゥースの自動切断について〕

ブルートゥースを長時間接続したままで放置すると、スマホのバッテリーを浪費してしまいます。

このため、ブルートゥース接続中に、15 分間、BM スマート、またはスマホ側の操作を行わないと、自動的にブルートゥースを切断するようにしています。

この場合、専用アプリで開いているウィンドウも閉じるため、編集中の内容が保存されない場合があります。

10 分経過した時点で、BM スマートから、注意を促すメッセージを発声しますので、操作を完了するようにしてください。

〔このアプリで使用しているオープンソフトウェアについて〕

このアプリでは、以下のオープンソフトウェアを使用しています。

- JavaMail for Android
- SimpleXML 2.7.1

2. アプリの管理

2.1 インストール

このアプリは、GooglePlay からインストールして頂けます。

2.2 セットアップ

インストールが完了したら、アプリを起動して、以下の準備を行います。

これらの操作は、初回起動時のみ必要です。次の手順で操作してください。

(なお、機種や Android バージョンの違いにより、表示されるメッセージが記載内容と異なる場合があります)。

[A. アプリの起動]

(1)ホーム画面のアプリ一覧から、「BM スマートターミナル」をタップして、起動します。

すると、以下の3件の権限確認が表示されますので、それぞれ[許可]ボタンを選択してください。

これらの権限を許可頂けない場合、アプリは利用できません。

| 権限 | 使用目的 |
|------------------|--------------|
| ・「音声の録音を許可しますか？」 | 音声認識機能で使します。 |

| | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|
| ・「端末内の写真、メディア、ファイルへのアクセスを許可しますか？」 | 各種データの保存に使用します。 |
| ・「連絡先へのアクセスを許可しますか？」 | 電話機能、インターネットメール機能、連絡先の編集機能で使用します。 |

〔B. ブルートゥース接続〕

(2)「BM スマートターミナル メインウィンドウ」内の、[この端末を発見可能にする]ボタンをタップします。

すると、次の確認メッセージが表示されますので、[許可]を選択してください。

「アプリが、300 秒間、他のブルートゥースデバイスにこのスマートフォンを表示しようとしています。」

(3)次に、BM スマート側を操作します。

BM スマートのメインメニューから、「接続」、「ブルートゥースポート」、「ブルートゥース接続」の順に選択して、「接続先デバイスの選択」ウィンドウを開きます。

(4)このウィンドウで、[探索]ボタンを押し、表示されたブルートゥース機器一覧の中から目的のスマホの項目を選択して接続します。

(5)スマホ側で接続確認が表示されますので、[許可]をタップしてください。すると、BM スマートとスマホが接続されます。

*スマートフォンの機種によっては、接続確認の中で、相手機器のピンコードの入力を求められる場合があります。

この場合は、BM スマートのピンコード(初期値=1234)を入力してください。

BM スマートのピンコードは、以下のコマンドで確認できます。

メインメニュー → 接続 → ブルートゥースポート → ブルートゥースの設定

[C. 専用アプリ機能の開始]

(6)次に「BM スマートターミナル メインウィンドウ」内の[このアプリの機能選択ウィンドウを開く]ボタンをタップします。

すると、以下の2件の権限確認が表示されますので、それぞれ[許可]ボタンを選択してください。

| 権限 | 使用目的 |
|----------------------------|-------------------|
| ・「電話の発信と管理を許可しますか？」 | 電話機能で使⽤します。 |
| ・「この端末の位置情報へのアクセスを許可しますか？」 | WEB ブラウザ機能で使⽤します。 |

(7)「BM スマートターミナル 機能選択ウィンドウ」内の、[ブルートゥースを切断する]ボタンをタップします。

すると、BM スマートとの接続を終了して、「BM スマートターミナル メインウィンドウ」に戻ります。

以下は、「点字操作支援機能」のための設定です。

[D. ユーザー補助サービス設定]

(8)このアプリのユーザー補助サービスを Android 端末に組み込みます。

「BM スマートターミナル メインウィンドウ」内の、[端末の設定「ユーザー補助」を開く]ボタンをタップします。

すると、「ユーザー補助」ウィンドウが開きます。

(9)このウィンドウ内の、「BM スマートターミナル アクセシビリティサービス」をタップします。

すると、このサービスの設定ウィンドウが表示されます。

*一部の端末では、このウィンドウが表示されなかったり、上記項目が選択不可になることがあります。この場合、本アプリのユーザー補助機能は利用できません。下記 [E.]に進んでください。

(10)サービスの設定ウィンドウで、「サービスの使用」をオンにし、確認メッセージに対して[OK]ボタンをタップします。

設定できたら、[上に戻る]ボタンでウィンドウを閉じ、「BM スマートターミナル」のウィンドウに戻ります。

[E. 仮想キーボード設定]

(11)まず、このアプリの仮想キーボードを Android 端末に登録して、利用可能にします。

「BM スマートターミナル メインウィンドウ」内の、[端末の設定「キーボードを管理」を開く]ボタンをタップします。

すると、「キーボードを管理」ウィンドウが開きます。

(12)このウィンドウ内の、「BM スマート 仮想キーボード」をタップして、オンにします。

すると、確認のメッセージが表示されますので、[OK]ボタンをタップしてください。

設定できたら、[上へ移動]ボタンで、「BM スマートターミナル」のウィンドウに戻ります。

(13)次に、インストール済みキーボードの中から、このアプリの仮想キーボードを選択します。

「BM スマートターミナル メインウィンドウ」内の、[仮想キーボードの選択を開く]ボタンをタップします。

すると、「キーボードの変更」ウィンドウが開きます。

*このボタンが表示されない場合は、仮想キーボードが利用可能になっていない可能性があります。上記(11)～(12)の操作で確認してください。

(14)「キーボードの変更」ウィンドウ内の「BM スマート 仮想キーボード」の項目を選択してください。

どれか項目を選択すると、このウィンドウは自動的に閉じて、元のウィンドウに戻ります。

[注]「BM スマート 仮想キーボード」が選択されていない場合も、一般的な編集欄ではユーザー補助サービス機能を使って、テキストの編集ができます。しかし、セキュリティの厳しい一部のアプリでは、ユーザー補助機能からの入力が許可されない場合があります。

上記(11)の操作でこのアプリの仮想キーボードを登録しておき、必要な時に(13)の操作でキーボードを切り替えてご使用ください。

〔F. ディスプレイの設定〕

以下は、本アプリを使いやすくするための、Android 端末の設定項目です。

お好みで設定してください。

(15)「BM スマートターミナル メインウィンドウ」→「その他のオプション」メニュー内の、[端末の設定「ディスプレイ」を開く]項目を選択します。

・画面がオフになるまでの時間を設定します。1分～5分程度に設定しておくとう便利です。

・画面の自動回転をオフにします。スマホを水平において操作する時に、画面の向きが変わってしまう心配がなくなります。

*端末により、これらの項目を表示するために、[詳細]ボタンのタップが必要な場合があります。

これで、全体の設定は終了です。

2.3 起動と終了

〔BM スマートターミナルの起動〕

BM スマートターミナルを起動するには、次のように操作します。

(1) ホーム画面のアプリ一覧や、履歴ウィンドウなどから、この名前の項目をタップします。すると、「BM スマートターミナル メインウィンドウ」が開きます。

(2) いつもご使用の BM スマートに接続するには、メインウィンドウ内の [前回と同じ BM スマートに接続する] ボタンをタップします。

前回と違う BM スマートに接続したい時は、メインウィンドウ内の [接続先 BM スマートを探す] ボタンを押して「ブルートゥース接続ウィンドウ」を開き、目的の BM スマートの項目を選択します。

〔作業が終わったら〕

(ブルートゥースを切断する)

Android 端末と BM スマートを接続している場合、以下のどれかの操作でブルートゥース接続を切断してください。

(1) BM スマート側で開いている「外部端末の操作」ウィンドウを閉じると、BM スマート側からブルートゥースを切断します。

(2) 「BM スマートターミナル メインウィンドウ」内の [ブルートゥースを切断する] ボタンを押すか、このウィンドウを閉じると、Android 側からブルートゥースを切断します。

(3)専用アプリ機能を使用している場合、「BM スマートターミナル 機能選択ウィンドウ」内の[ブルートゥースを切断する]ボタンを押します。

各機能のウィンドウに入っている場合は、各ウィンドウの上部に表示されている「説明」の項目をタップすると、「このアプリで開いているウィンドウ一覧」が表示されます。このウィンドウで、「BM スマートターミナル メインウィンドウ」の項目を選択してください。

(インターネットメールを受信している時)

専用アプリ機能の「インターネットメール」を使用している場合、メールの受信、またはクイックメールのウィンドウを開いている時は、定期的に、メールサーバへの接続が発生します。

このウィンドウを開いている場合は、[戻る]ボタンで閉じてください。

上記以外の場合、ウィンドウを開いたままにしても問題ありません。ウィンドウを閉じるには、[戻る]ボタンをタップしてください。

2.4 アンインストール

このアプリをもう使用しないという場合は、アンインストールを行って、BM スマートターミナルを Android 端末から削除します。

[重要]一部の端末では、仮想キーボードや、ユーザー補助サービスが有効な状態でアプリをアンインストールすると、システムが不安定になる場合があります。

以下の手順でアンインストールするようにしてください。

(1)このアプリの仮想キーボードを選択している場合は、次の操作で、他のキーボードに切り替えてください。

- ・「BM スマートターミナル メインウィンドウ」内の、[仮想キーボードの選択を開く]ボタンをタップすると、「キーボードの変更」ウィンドウが開きます。

- ・このウィンドウ内に表示されている、他のキーボードをタップしてください。

*このボタンが表示されない場合は、このアプリの仮想キーボードを使用していません。

(2)このアプリのユーザー補助サービスを使用している場合は、次の操作でオフにしてください。

- ・「BM スマートターミナル メインウィンドウ」内の、[端末の設定「ユーザー補助」を開く]ボタンをタップすると、「ユーザー補助」ウィンドウが開きます。

- ・このウィンドウ内の、「BM スマートターミナル アクセシビリティサービス」をタップすると、サービスの設定ウィンドウが表示されます。

- ・「サービスの使用」をオフにし、確認メッセージに対して[OK]ボタンをタップします。

(3)このアプリで保存していたデータを削除するには、以下のように操作します。

- ・「BM スマートターミナル メインウィンドウ」→「その他のオプション」メニュー内の、[このアプリのデータを全て消去する]項目を選択します。

すると、確認のメッセージが表示されますので、[削除する]ボタンを押してください。

(4)最後に、このアプリ自体を削除します。

- ・「BM スマートターミナル メインウィンドウ」→「その他のオプション」メニュー内の、[アプリ情報を開く]項目をタップして、「アプリ情報」ウィンドウを開きます。

・このウィンドウ内の[アンインストール]ボタンを押し、確認のメッセージに「OK」してください。

3. 専用アプリ機能

専用アプリ機能は、スマホ単体と、BM スマート接続状態の両方で利用可能です。

スマホ単体で使うには、「BM スマートターミナル メインウィンドウ」内の[このアプリの機能選択ウィンドウを開く]ボタンをタップします。

すると、「BM スマートターミナル オフラインモードウィンドウ」が開きます。

BM スマートを接続して使うには、[接続先 BM スマートを探す]ボタンをタップします。

すると、「Bluetooth接続ウィンドウ」が開きますので、「ペアリング済みデバイス」の中から、目的の BM スマートを選択してください。

次回からは、[前回と同じ BM スマートに接続]ボタンが表示されますので、こちらをタップします。

BM スマートに接続できると、メインウィンドウに、接続先機器の名前が表示されます。

また、BM スマート側には、「外部端末の操作」ウィンドウが表示されます。

BM スマート側で、[このアプリの機能を利用する]ボタンを押ししてください。

すると、「BM スマートターミナル 機能選択ウィンドウ」が開きます。

BM スマートと接続している場合、スマホ側に専用アプリ機能のウィンドウが開くと、BM スマート側にも同じ内容のウィンドウが開きます。

BM スマート側のウィンドウは、BM スマートの他のウィンドウと同じように操作できます。

ウィンドウ内の移動には、矢印キーや、タブキーを使います。

ウィンドウ内のテキスト情報は、範囲選択や、コピー、貼り付けの操作ができます。

リストの要素をコピーするにはコントロールキー+C、リスト全体をコピーするには、コントロールキー+P キーを押してください。

オルトキーを押すと、メニューを開きます。

ウィンドウを閉じる時は、コマンドキー+Z(1,3,5,6 の点)を押してください。

ウィンドウ内に[閉じる]や[キャンセル]のボタンがある場合は、エスケープキーでもウィンドウを閉じることができます。

〔画面上のテキスト情報を保存しておいて、後で参照する〕

乗り替え案内の検索結果など、後で参照したい情報が画面に表示されている時に、そのテキスト情報を保存しておいて、後で参照することができます。

この機能を使用するには、次のように操作します。

(1) 準備

メインウィンドウの「その他のオプション」メニューを開き、次の項目を選択してチェックしておきます。

「ユーザー補助機能」ボタンを、ウィンドウのテキスト保存に使用する

(初回操作時には、このボタンを使用するアプリの選択ウィンドウが表示されますので、BM スマートターミナルを選択してください)。

(2) 記録しておきたい情報が画面に表示されたら[ユーザー補助機能]ボタンを押します。

すると、画面上のテキスト情報が簡単メモに保存されます。

また、通知画面にも、そのメモを参照するための項目が追加されます。

(3) 情報を参照しなくなったら、「通知」を開き、目的のメモ項目の[このメモを表示]ボタンを押します。

すると、別ウィンドウが開いて、記録しておいたテキスト情報が表示されます。

(4) 情報が不用になったら、このウィンドウ内の[この情報を削除する]ボタンを押します。

「通知」画面からも、メモ項目の[削除]ボタンを押すことで、情報を削除できます。

(なお、Bluetoothキーボードを接続している場合、[ユーザー補助機能]ボタンの代わりに、キーボードからコントロールキー+オルトキー+W の操作も利用できます)。

3. 1 電話を掛ける

BM スマートターミナル 機能選択ウィンドウ」で、[電話を掛ける]ボタンを押すと、「電話を掛ける ウィンドウ」が開きます。

このウィンドウには、以下のボタンがあります。

[電話番号を入力する]ボタン……音声入力、または、専用のボタン操作で電話番号を入力し、電話を掛けます。

このボタンを押すと、「電話を掛ける 番号入力ウィンドウ」が表示されます。

音声入力するには、「電話番号」というラベルをタップしてください。

[電話帳を開く]ボタン……連絡先に登録されている電話番号一覧を表示します。

このボタンを押すと、「電話帳ウィンドウ」が表示されます。

電話帳の項目を選んで発信できます。

[もう一度電話する]ボタン……前回の発信先が残っている時、同じ番号に発信します。

このボタンの中に表示される番号をご確認ください。

[自分の電話番号を確認する]ボタン……この端末の電話番号を表示します。

確認できたら、[確認]ボタンを押してください。

(このウィンドウでは、メニューからも、機能を選択可能です)。

〔クイックダイヤル〕

各ウィンドウのメニューから、選択中の番号をクイックダイヤルに設定できます。

クイックダイヤルには、最大3件までの番号を指定できます。

クイックダイヤルが設定されると、「電話を掛ける」ウィンドウの上部に、〔クイックダイヤル〕ボタンが表示されます。

3. 2 インターネットメールの送受信を行う

「BM スマートターミナル 機能選択ウィンドウ」で、〔インターネットメールを開く〕ボタンを押すと、「インターネットメール ウィンドウ」が開きます。

このウィンドウには、以下のボタンがあります。

〔メールを受信する〕

〔メールを送信する〕

〔受信 InBox〕

〔受信 SpamBox〕

〔送信 OutBox〕

〔メールサーバを設定する〕

3. 2. 1 メールサーバを設定する

この機能では、SMTP/POP3 プロトコルを使用する、インターネットメールサービスを利用できます。

ただし、現状、Gmail のアカウントは、セキュリティ制限のために使用できません。

始めに、この機能で使用するメールサーバとメールアカウントを設定します。

次の手順で設定します。

(1)「インターネットメール」ウィンドウで、[メールサーバを設定する]ボタンを押します。すると、「メールサーバの設定」ウィンドウが開きます。

(2)このウィンドウには、登録済みの設定一覧が表示されます。初回起動時は、自動的に、新規設定に進み、「メールサーバの設定 設定項目一覧」ウィンドウが表示されます。

(3)このウィンドウに必要な設定項目の一覧が表示されます。各項目でエンターキーを押すと、編集ウィンドウが開きますので、値を入力してください。

(4)設定できたら、[閉じる]ボタンを押してください。すると、「メールサーバの設定」ウィンドウに戻ります。

(5)このウィンドウで、項目を選択すると、そのサーバ設定が有効になり、メールの送受信で使用されます。

もし、設定内容に不足がある場合は、その旨表示されますので、[このサーバ設定を編集する]ボタンを押して、設定を追加してください。

*[戻る]の操作でこのウィンドウを閉じた場合も、入力した内容は保存されています。

3. 2. 2 メールを送信する

メールを送信するには、次の手順で操作します。

(1)「インターネットメール」ウィンドウで、[メールを送信する]ボタンを押します。すると、「宛先の編集」ウィンドウが開きます。

(2)[アドレス帳から選択する]ボタンを押すと、「アドレス帳」ウィンドウが開きますので、メールを送りたいアドレスを選択してください。

アドレス帳にまだ登録していない場合は、「名前」と「アドレス」の欄に、入力して、[追加]ボタンを押してください。

(3)すると、「送信メールの編集」ウィンドウが開きます。

ここで、メールの件名や本文を入力してください。

スマホを操作している場合、「件名」や「本文」のラベルをタップすると、その項目を音声認識で入力できます。

(4)入力できたら、[送信]ボタンを押してください。

送信したメールは、[送信 OutBox]フォルダに保存されます。

3. 2. 3 メールを受信する

メールを受信するには、次の手順で操作します。

(1)「インターネットメール」ウィンドウで、[メールを受信する]ボタンを押します。すると、「受信メール一覧」ウィンドウが開き、メールの受信を行います。

メールを受信すると、その内容が一覧に表示されます。

このウィンドウを開いている間は、定期的にサーバにアクセスして、受信メールを確認します。

(2)一覧にメールが表示された場合、そのメールを選択すると、本文を確認できます。

(3)「受信メール一覧」ウィンドウを閉じると、受信したメールは、[受信 InBox]、または[受信 SpamBox]フォルダに保存されます。

3. 2. 4 メールフォルダを開く

「インターネットメール」ウィンドウで、以下のメールボックスボタンを押すと、その中に保存されているメールを確認できます。

[受信 InBox]

[受信 SpamBox]

[送信 OutBox]

メールの一覧ウィンドウが開きますので、確認したいメールの項目を選択してください。

3. 2. 5 クイックメールを使う

このアプリには、3件までの「クイックメール」を設定して使用できます。

クイックメール機能は、予め、送信先のアドレスを指定しておき、そのアドレスとのメールの送受信を簡単に行えるようにする機能です。

次のように使用します。

(1)「インターネットメール」ウィンドウのメニューで、「クイックメールを設定する」項目を選択します。すると、「クイックメールの設定」ウィンドウが開きます。

(2)[メンバーを追加する]ボタンを押して、連絡先アドレスを追加します。

設定できたら、[戻る]操作でウィンドウを閉じます。

(3)クイックメールを設定しておくで、「インターネットメール」ウィンドウの上部に、クイックメールの項目が表示されます。

この項目を選択すると、「クイックメール」ウィンドウが開き、メンバーからのメールの一覧が表示されます。

更に、新しいメールが届くと、その内容が一覧に追加されます。

(4)「クイックメール」ウィンドウの、[メールを送信する]ボタンを押すと、「送信メールの編集」ウィンドウが開きます。

送信先には、メンバーのアドレスが入っていますので、件名と本文を入力するだけで、メールを送信できます。

3. 3 端末の連絡先を編集する

「BM スマートターミナル 機能選択ウィンドウ」で、[連絡先を編集する]ボタンを押すと、「連絡先一覧 ウィンドウ」が開きます。

このウィンドウには、登録済みの連絡先と、最大3件までの、電話番号、メールアドレスが表示されます。

(1)新しい連絡先を追加するには、[新規連絡先]ボタンを押します。すると、「連絡先 設定項目一覧 ウィンドウ」が開きます。

(2)「連絡先 設定項目一覧」の各項目を選択すると、その項目を編集できます。

編集が終わったら、[閉じる]ボタンを押してください。

(3)登録済みの連絡先を編集するには、[この項目を編集する]ボタンを押してください。

ここで編集した電話番号やアドレスは、Android 端末に登録されますので、他のアプリからも使用できます。

3. 4 WEB ブラウザでインターネットを閲覧する

WEB ブラウザ機能は、BM スマートと接続している時のみ利用できます。

「BM スマートターミナル 機能選択ウィンドウ」で、[WEB ブラウザを開く]ボタンを押すと、WEB ブラウザが開き、ホームページとして設定されている WEB ページの内容が表示されます。

3. 4. 1 WEB ブラウザの操作

WEB ブラウザが開くと、BM スマート側にも、WEB ページのテキスト情報が表示されます。

このウィンドウでは、以下の操作が可能です。

(1) 矢印キーやホーム／エンドキー、タブキーで、カーソルを移動します。

(2) 次のキーで、各タグにジャンプできます。

(シフトキーと組み合わせると、逆向きに移動します)。

| | |
|-----|--------------------------|
| H | 見出し(H1～H6) |
| L | リスト(UL, NL, DL) |
| I | リスト要素(LI, DT, DD) |
| T | テーブル(TABLE) |
| K | リンク(A) |
| F | フォーム(FORM) |
| E | 編集欄(INPUT/text など) |
| B | ボタン(INPUT/button など) |
| X | チェックボックス(INPUT/checkbox) |
| C | コンボボックス(SELECT) |
| R | ラジオボタン(INPUT/radio) |
| G | イメージ(IMG) |
| 1～6 | 見出し(H1, ...) |

(3)リンクやボタンを押したり、入力欄を編集状態にするには、その位置のタッチカーソルキーを2回押すか、その位置にカーソルを移動して、エンターキーを押します。

(4)メニュー内のコマンドを、以下のショートカット操作で実行できます。

| | |
|--------------|------------------------------|
| URL を開く | コントロールキー＋O |
| 訪問したページ一覧を開く | コントロールキー＋R |
| 見出し一覧 | コントロールキー＋セレクトキー＋S |
| フォーム一覧 | コントロールキー＋セレクトキー＋F |
| リスト・テーブル一覧 | コントロールキー＋セレクトキー＋T |
| リンク一覧 | コントロールキー＋セレクトキー＋K |
| 最新の情報に更新 | コントロールキー＋W |
| ホームページに戻る | オルトキー＋Home |
| 前のページに戻る | オルトキー＋左矢印、またはオルトキー＋バックスペースキー |
| 次のページに進む | オルトキー＋右矢印 |

なお、WEB ページの内容は、自動的に更新される場合があります。変更された内容を確認するために、適宜「最新の情報に更新」コマンドを実行してください。

*これらの操作により開く、文字列編集やリスト選択のウィンドウは、BM スマート側にものみ表示されますので、ご注意ください。

3. 4. 2 URL を開く

URL を指定してページを開くには、メニューから以下のコマンドを実行します。

メニュー → ファイル → URL を開く

すると、編集欄が開きますので、目的の URL を入力してエンターキーを押してください。

3. 4. 3 前後のページに移動する

WEB ページの閲覧中は、次の操作で、前後のページに移動できます。

| | |
|-------------|-----------|
| オルトキー+左矢印キー | 前のページに戻る。 |
| オルトキー+右矢印キー | 次のページに進む。 |

また、これまでに閲覧したページの一覧を開くには、メニューから以下のコマンドを実行します。

メニュー → ファイル → 訪問したページ一覧を開く

今開いているページをホームページに設定するには、メニューから以下のコマンドを実行します。

メニュー → 設定 → ホームページに設定

次のコマンドで、いつでも、ホームページに戻ることができます。

メニュー → ファイル → ホームページに戻る

3. 4. 4 閲覧しているページをお気に入り登録する

今開いているページをお気に入りページに登録するには、メニューから以下のコマンドを実行します。

メニュー → 設定 → お気に入りページに追加

次のコマンドで、お気に入りページを選択して開くことができます。

メニュー → ファイル → お気に入りページ一覧を開く

3. 4. 5 ダウンロードフォルダを開く

WEB 閲覧中にダウンロードの項目をクリックすると、ファイルがダウンロードされて、Android 端末のダウンロードフォルダに保存されます。

ダウンロードフォルダの内容は、以下のコマンドで確認できます。

メニュー → ファイル → ダウンロードフォルダを開く

3. 4. 6 各種一覧表示機能

表示中のページにある各種のタグ要素を、以下のコマンドで一覧表示できます。

メニュー → ナビ →

見出し一覧

フォーム一覧

リスト・テーブル一覧

リンク一覧

3.5 マイクから録音する

「BM スマートターミナル 機能選択ウィンドウ」で、[ボイスレコーダー]ボタンを押すと、「ボイスレコーダー ウィンドウ」が開きます。

このウィンドウでは、端末のマイクを使って周囲の音を録音できます。

録音するには、[新規録音]ボタンを押します。すると、「音声録音 ウィンドウ」が開き、録音の操作ができます。

また、これまでに録音したデータが、下のリストに一覧表示されます。

リストの項目をタップすると、「オーディオ再生 ウィンドウ」が開き、録音した内容が再生されます。

3.5.1 音声録音ウィンドウ

音声録音ウィンドウでは、以下の操作が可能です。

[録音開始]ボタン: 録音を始めます。同じボタンを再度押すと、録音のポーズ、再開ができます。

[録音終了]ボタン: 録音を終了し、ボイスレコーダーウィンドウに戻ります。

メモ: この録音に付けるメモを指定します。端末の「メモ」の項目をタップすると、音声認識で入力できます。

3. 5. 2 音声再生ウィンドウ

音声再生ウィンドウが開くと、データの再生が始まります。

再生が終了すると、ウィンドウが閉じて、ボイスレコーダーウィンドウに戻ります。

音声再生ウィンドウでは、以下の操作が可能です。

[再生／ポーズ]ボタン:再生を中断／再開します。

[初めから再生]ボタン:データの先頭から再生します。

3. 6 音声認識により、簡単なメモを記録する

「BM スマートターミナル 機能選択ウィンドウ」で、[簡単メモ]ボタンを押すと、「簡単メモ ウィンドウ」が開きます。

このウィンドウでは、音声認識により、話した内容をテキストとして記録できます。

新しいメモを保存するには、[メモ開始]ボタンを押します。

すると、音声認識が開始しますので、メモしたい内容を話してください。

認識が終了すると、その内容が、下の一覧に追加されます。

3.7 ダウンロードフォルダの操作

端末の「Download フォルダ」に保存されているファイルを確認するには、「BM スマートターミナル 機能選択ウィンドウ」で[ダウンロードフォルダを開く]ボタンを押します。

すると、「ダウンロードフォルダ ウィンドウ」が開き、フォルダに保存されている、ファイル名、サイズ、更新日時の一覧が表示されます。

このウィンドウでは、メニューから、以下の操作が選択できます。

(1)このファイルを開く

選択中のファイルの種類に関係付けられたアプリを選択して、ファイルを開きます。

(2)ZIP ファイルを解凍する

選択している ZIP ファイルを解凍します。

(3)BM スマートに送信する

選択中のファイルやフォルダを、BM スマートに転送します。

転送速度は、1分間に 300 キロバイトで、転送中も、別の作業を続けられます。

転送したファイルは、内蔵 SD 内の「ダウンロード」フォルダ内に保存されます。

送信中は、BM スマートに、進行状況を示すウィンドウが表示されます。

このコマンドを再度実行すると、ファイルの転送をキャンセルします。

(4)USB ドライブに保存する

この機能は、USB ホスト機能(OTG)をサポートする、Android7 以上の端末で利用可能です。

USB メモリーを端末に接続してからこのコマンドを実行すると、選択しているファイルやフォルダを、USB メモリー内の「Download」フォルダに保存します。

初回実行時に、権限許可の画面が表示されますので、[許可]ボタンを押してください。

(5)このファイルを削除する

選択中のファイルを削除します。

(6)USBドライブの Download フォルダからコピーする

この機能は、USB ホスト機能(OTG)をサポートする、Android7 以上の端末で利用可能です。

USB メモリーの「Download」フォルダ内のファイルを、端末のダウンロードフォルダにコピーします。

初回実行時に、権限許可の画面が表示されますので、[許可]ボタンを押してください。

(7)全てのファイルを削除する

端末のダウンロードフォルダ内のファイルを全て削除します。

(8)端末の設定「外部ストレージ」を開く

端末の外部ストレージ設定ウィンドウを開きます。

〔スマホ用の USB メモリーについて〕

スマホ用の USB メモリーとして、USB マイクロ B コネクタや USB C コネクタを持つ製品が市販されています。

ご使用の端末が USB ホスト機能(OTG)に対応している場合、端末の USB コネクタに接続できるメモリーを用意することで、端末内のデータを簡単に出し入れすることができます。

スマホと BM スマートでデータを共有するには、スマホ用のコネクタと、BM スマートに接続できる USB A タイプコネクタの両方を備えた USB メモリーをご用意ください。

対応している端末に USB メモリーを接続すると、自動的に認識されて、端末の設定「ストレージ」の中に「USB ドライブ」の項目が表示されます。

作業が終了したら、メモリーを取り外す前に、必ず、このウィンドウの下部にある[取り外し]ボタンを押してください。

[取り外し]ボタンは、通知画面にも表示される場合があります。

4. 点字操作支援機能

点字操作支援機能は、スマホの移動操作や、表示内容の確認、テキスト編集操作を、BM スマートから行う機能です。

従来のスクリーンリーダーと異なり、テキスト形式の情報をスマホとやり取りできる所が特長です。

*スマホを机の上などに水平に置いて使用すると、画面表示の向きが安定しない場合があります。

このような場合は、端末の設定で、「画面の自動回転」をオフにしてください。

点字操作支援機能を利用するには、まず「BM スマートターミナル メインウィンドウ」から、BM スマートに接続します。

すると、BM スマート側に、「外部端末の操作」ウィンドウが表示されますので、ここから操作を開始します。

一般アプリの表示内容を読むには、アクセスビューを使用します。

一般アプリのテキスト編集を行うには、テキスト編集ビューを使用します。

なお、「BM スマートターミナル メインウィンドウ」で[戻る]の操作をすると、ブルートゥースが切断されます。

一般アプリを選択するには、このウィンドウを開いたままで、ホームや履歴のウィンドウに移動してください。

4. 1 一般アプリの画面を点字表示する(ユーザー補助サービス使用)

〔アクセスビューとテキスト編集ビュー〕

一般アプリの画面を点字表示するには、BM スマート側の「外部端末の操作」ウィンドウで、[アクセスビューを表示する]ボタンを押します(このボタンのショートカットは、コントロールキー+D です)。

すると、「アクセスビュー」ウィンドウが開きます。

スマホ側のスクリーンリーダー(トークバックなど)が読み上げる内容が、アクセスビューに表示されます。

また、アクセスビューで行ったキー操作は、スマホ側に送信されます(仮想キーボード使用時)。

アクセスビュー内の、「位置」の欄には、読み上げられた情報のスマホ上での位置とサイズが、パーセント値で表示されます。

アクセスビューの[音声出力]をチェックしておくで、新しいメッセージが表示される時に、音声で読み上げます。

スマホで、入力欄があるウィンドウを開いたり、入力欄をダブルタップすると、入力欄にフォーカスが当たり、文字を入力できる状態になります。

この時、入力欄の内容が BM スマートに送信され、通知音が鳴ります。

BM スマート側で、オルトキー+K を押すと、テキスト編集ビューが開き、送られたテキストを編集できます。

編集が終わったら、オルトキー+エンターキーを押して、スマホ側に返信します。

テキストを返信するか、エスケープキーを押すと、テキスト編集ビューが閉じて、アクセスビューの表示に戻ります。

〔アクセスビューの操作〕

アクセスビューでは、以下の操作が可能です。

*以下の機能は、「アクセスビューの操作」コマンドからも選択できます。

メニューを開くには、オルトキー+1から6の点を押してください。

*このウィンドウでは、ヘルプ表示と、操作ヘルプを利用できます。

コマンドキー+1,2,5の点で、ヘルプメッセージを表示します。

オルトキー+コマンドキー+1,2,5の点で、操作ヘルプをオン/オフします。

操作ヘルプがオンの状態で、何か操作すると、その操作に割り当てられたコマンドを説明します。

〔A〕キーボード操作

以下の操作は、BM スマート仮想キーボードを選択している時、有効です。

| | |
|-----------------|---|
| ・矢印キー・ホーム/エンドキー | スマホ側のカーソルを操作します。 シフトキーと組み合わせると、範囲選択できます。 |
| ・英数字 | 文字を入力します。 コントロールキー+C(コピー)、コントロールキー+X(切り取り)、コントロールキー+V(貼付け)などのショートカット操作も利用できます。 |

文字を入力する時は、アクセスビュー内の「ナビモード」のチェックを外してください。

*以下のショートカットでも、ナビモードのオン/オフを変更できます。

| | |
|----------|----------------------------|
| ナビモード オン | コマンドキー+1, 2, 5, 6の点 |
| ナビモード オフ | セレクトキー+コマンドキー+1, 2, 5, 6の点 |

[B]擬似タッチ操作

以下の操作は、端末上でのタッチ操作を、BM スマート側から擬似的に行います。

これらの操作を有効にするには、ナビモードをオンにしてください。

これらの操作により実行されるアクションは、スクリーンリーダーの種類や、設定により異なります。

(Android7 以降で有効です)。

| | |
|-------------|--------------------|
| ・1 の点 | 上にスワイプ。 |
| ・4 の点 | 下にスワイプ。 |
| ・3 の点 | 左にスワイプ。 |
| ・6 の点 | 右にスワイプ。 |
| ・2,4,6 の点 | 左にスワイプしてから、右にスワイプ。 |
| ・1,3,5 の点 | 右にスワイプしてから、左にスワイプ。 |
| ・1,2,4,5 の点 | 上にスワイプしてから、下にスワイプ。 |
| ・2,3,5,6 の点 | 下にスワイプしてから、上にスワイプ。 |
| ・1,2,5 の点 | 左にスワイプしてから、上にスワイプ。 |
| ・2,3,5 の点 | 左にスワイプしてから、下にスワイプ。 |
| ・2,4,5 の点 | 右にスワイプしてから、上にスワイプ。 |
| ・2,5,6 の点 | 右にスワイプしてから、下にスワイプ。 |
| ・1,2,4 の点 | 上にスワイプしてから、左にスワイプ。 |

| | |
|-------------------|--------------------|
| ・1,4,5 の点 | 上にスワイプしてから、右にスワイプ。 |
| ・3,5,6 の点 | 下にスワイプしてから、左にスワイプ。 |
| ・2,3,6 の点 | 下にスワイプしてから、右にスワイプ。 |
| ・1,4 の点 | 2本指で、上にスワイプ。 |
| ・3,6 の点 | 2本指で、下にスワイプ。 |
| ・1,3 の点 | 2本指で、左にスワイプ。 |
| ・4,6 の点 | 2本指で、右にスワイプ。 |
| ・1,3,4,6 の点 | 2本指で、上に大きくスワイプ。 |
| ・1,2,3,4,5,6 の点 | 2本指で、大きく下にスワイプ。 |
| ・1,4,8 の点 | 3本指で、上にスワイプ。 |
| ・3,6,8 の点 | 3本指で、下にスワイプ。 |
| ・1,2,3 の点 | 3本指で、左にスワイプ。 |
| ・4,5,6 の点 | 3本指で、右にスワイプ。 |
| ・1,3,4,6,8 の点 | 3本指で、大きく上にスワイプ。 |
| ・1,2,3,4,5,6,8 の点 | 3本指で、大きく下にスワイプ。 |
| ・エンター | ダブルタップ。 |
| ・スペース | ダブルロングタップ。 |
| ・2,5 の点 | 2本指でタップ。 |
| ・2,5,8 の点 | 3本指でタップ。 |

次の操作は、左右スワイプを、連続して行います。

| | |
|---------|-----------------------------|
| ・3.4 の点 | 左に快速スワイプ 1秒間隔でスワイプします。 |
| ・1.6 の点 | 右に快速スワイプ。 |
| ・3.5 の点 | 左に高速スワイプ 1秒間に 5 回程度スワイプします。 |
| ・2.6 の点 | 右に高速スワイプ。 |

次の操作は、アクセシビリティフォーカスを移動するために使用します。

| | |
|---------|--------------|
| ・1.8 の点 | 画面の上段左側をタップ。 |
| ・4.8 の点 | 画面の上段右側をタップ。 |
| ・2.8 の点 | 画面の中段左側をタップ。 |
| ・5.8 の点 | 画面の中段右側をタップ。 |
| ・3.8 の点 | 画面の下段左側をタップ。 |
| ・6.8 の点 | 画面の下段右側をタップ。 |

[C]ウィンドウ内の移動

[コマンドキー操作]

| | |
|--------------------|--|
| ・オルトキー+コマンドキー+1 の点 | 前の項目に移動します。操作が割り当てられている項目の子項目はスキップします。 |
| ・オルトキー+コマンドキー+4 の点 | 次の項目に移動します。操作が割り当てられている項目の子項目はスキップします。 |
| ・オルトキー+コマンドキー+3 の点 | 前の項目に移動します。全ての項目に止まりません。 |
| ・オルトキー+コマンドキー+6 の点 | 次の項目に移動します。全ての項目に止まりません。 |

| | |
|----------------------|------------------------------|
| | す。 |
| ・オルトキー+コマンドキー+2 の点 | 前の操作可能な項目に移動します。 |
| ・オルトキー+コマンドキー+5 の点 | 次の操作可能な項目に移動します。 |
| ・コマンドキー+1,2,3,6 の点 | 同じレベルの前の項目に移動します。 |
| ・コマンドキー+3,4,5,6 の点 | 同じレベルの次の項目に移動します。 |
| ・コマンドキー+1,2,3,4 の点 | 親項目に移動します。 |
| ・コマンドキー+1,4,5,6 の点 | 親項目と同じレベルの次の項目に移動します。 |
| ・コマンドキー+1,2,3,4,6 の点 | ウィンドウ内の表示中の先頭項目に移動します。 |
| ・コマンドキー+1,3,4,5,6 の点 | ウィンドウ内の表示中の最終項目に移動します。 |
| ・コマンドキー+1,2,3,5,6 の点 | リスト内にいる場合、リストを前方向にスクロールします。 |
| ・コマンドキー+2,3,4,5,6 の点 | リスト内にいる場合、リストを後ろ方向にスクロールします。 |
| ・コマンドキー+1,2,4,6 の点 | 前のウィンドウに移動します。 |
| ・コマンドキー+1,3,4,5 の点 | 次のウィンドウに移動します。 |

[矢印キー操作]

| | |
|-----------------------|--|
| ・オルトキー+上矢印キー | 前の項目に移動します。操作が割り当てられている項目の子項目はスキップします。 |
| ・オルトキー+下矢印キー | 次の項目に移動します。操作が割り当てられている項目の子項目はスキップします。 |
| ・オルトキー+左矢印キー | 前の項目に移動します。全ての項目に止まります。 |
| ・オルトキー+右矢印キー | 次の項目に移動します。全ての項目に止まります。 |
| ・オルトキー+コントロールキー+左矢印キー | 前の操作可能な項目に移動しま |

| | |
|------------------------|------------------------------|
| | す。 |
| ・オルトキー＋コントロールキー＋右矢印キー | 次の操作可能な項目に移動します。 |
| ・オルトキー＋コントロールキー＋上矢印キー | 同じレベルの前の項目に移動します。 |
| ・オルトキー＋コントロールキー＋下矢印キー | 同じレベルの次の項目に移動します。 |
| ・オルトキー＋左下矢印キー | 親項目に移動します。 |
| ・オルトキー＋右上矢印キー | 親項目と同じレベルの次の項目に移動します。 |
| ・オルトキー＋コントロールキー＋左下矢印キー | ウィンドウ内の表示中の先頭項目に移動します。 |
| ・オルトキー＋コントロールキー＋右上矢印キー | ウィンドウ内の表示中の最終項目に移動します。 |
| ・オルトキー＋左上矢印キー | リスト内にいる場合、リストを前方にスクロールします。 |
| ・オルトキー＋右下矢印キー | リスト内にいる場合、リストを後ろ方向にスクロールします。 |
| ・オルトキー＋コントロールキー＋左上矢印キー | 前のウィンドウに移動します。 |
| ・オルトキー＋コントロールキー＋右下矢印キー | 次のウィンドウに移動します。 |

[その他の移動操作]

| | |
|-----------------|--------------------|
| ・オルトキー＋E | 次の編集可能な項目に移動します。 |
| ・オルトキー＋セレクトキー＋E | : 前の編集可能な項目に移動します。 |
| ・オルトキー＋I | 次のリスト要素に移動します。 |
| ・オルトキー＋セレクトキー＋I | 前のリスト要素に移動します。 |
| ・オルトキー＋L | 次のリストに移動します。 |
| ・オルトキー＋セレクトキー＋L | 前のリストに移動します。 |
| ・オルトキー＋G | マーク位置に移動します。 |

| | |
|-----------------|--------------|
| ・オルトキー＋セレクトキー＋G | 現在位置をマークします。 |
|-----------------|--------------|

[ウィンドウ内の検索]

| | |
|------------------------|-------------------------------|
| ・オルトキー＋コントロールキー＋F | キーワードを指定して、画面内を検索します。 |
| ・コマンドキー＋3,5,6 の点 | 画面内を後ろ方向に検索します。 |
| ・コマンドキー＋2,3,6 の点 | 画面内を前方向に検索します。 |
| ・コマンドキー＋1,3,6 の点 | 画面内を先頭から検索します。 |
| ・ナビモードで、3,4,5,6 の点 | 右スワイプで移動しながら検索します。 |
| ・ナビモードで、1,2,3,6 の点 | 左スワイプで移動しながら検索します。 |
| ・オルトキー＋コマンドキー＋3,5,6 の点 | 指定したキーワードを、右スワイプで移動しながら検索します。 |
| ・オルトキー＋コマンドキー＋2,3,6 の点 | 指定したキーワードを、左スワイプで移動しながら検索します。 |

[その他の移動操作]

[D]項目の操作

| | |
|----------------------|--------------------------------|
| ・オルトキー＋エンターキー | 項目をクリックします。端末の画面がオフの時は、オンにします。 |
| ・オルトキー＋セレクトキー＋エンターキー | 項目をロングクリックします。 |
| ・オルトキー＋スペースキー | 項目を選択します。 |
| ・オルトキー＋セレクトキー＋スペースキー | 選択をクリアします。 |

[E]読み上げの操作

| | |
|-------------------|---------------------------|
| ・コマンドキー+1, 4の点 | 表示中の文字列を読み上げます。 |
| ・コマンドキー+2, 5の点 | 表示位置のタイトル情報を読み上げます。 |
| ・コマンドキー+3, 6の点 | 現在の項目で可能な操作を読み上げます。 |
| ・コマンドキー+1, 5, 6の点 | 表示中の位置情報を読み上げます。 |
| ・コマンドキー+3, 4の点 | 表示中の文字列の、画面上の位置情報を読み上げます。 |

[F]編集操作

| | |
|-----------------|--|
| ・オルトキー+K | テキスト編集ビューを開きます。 |
| ・オルトキー+デリートキー | スマホ側入力欄の内容を消去します。 |
| ・オルトキー+C | 選択中の文字列を、コピーします。 |
| ・オルトキー+X | 選択中の文字列を、切り取ります。 |
| ・オルトキー+V | クリップボードから貼り付けます。 |
| ・オルトキー+エスケープキー | ソフトキーボードを非表示にします(Android7.0以降で有効です)。 |
| ・オルトキー+セレクトキー+K | ソフトキーボードの選択メニューを開きます。 |
| ・オルトキー+D | メールアドレスを、連絡先に登録されているデータの一覧から選択して入力します。 |
| ・オルトキー+セレクトキー+D | 電話番号を、連絡先に登録されているデータの一覧から選択して入力します。 |
| ・コマンドキー+2,4,6の点 | BM スマートのクリップボードのテキストを、スマホのクリップボードに送信します。 |
| ・コマンドキー+1,3,5の点 | スマホのクリップボードのテキストを、BM スマートのクリップボードに送信します。 |

[G]グローバル操作

| | |
|------------------|-------------------------------------|
| ・オルトキー+バックスペースキー | [戻る]操作を実行します。 |
| ・オルトキー+H | ホームに移動します。 |
| ・オルトキー+N | 通知シェードに移動します。 |
| ・オルトキー+セレクトキー+P | 携帯電話オプションに移動します。 |
| ・オルトキー+Q | クイック設定に移動します。 |
| ・オルトキー+R | 履歴に移動します。 |
| ・オルトキー+セレクトキー+S | 画面分割をオン/オフします (Android7.0 以降で有効です)。 |
| ・オルトキー+Y | スクリーンショットを保存します (Android9 以降で有効です)。 |
| ・オルトキー+Z | 画面をオフします (Android9 以降で有効です)。 |

[H]アプリショートカット

| | |
|------------------------------------|---|
| ・オルトキー+セレクトキー+A | 操作中のアプリに短縮名を設定します。(入力欄を空にしてエンターキーを押すと、短縮名を消去します) |
| ・オルトキー+A | 短縮名でアプリを起動します。 |
| ・オルトキー+セレクトキー+0~ オルトキー+セレクトキー+9 | 指定した番号のショートカットに、操作中のアプリを設定します。(続けてもう一度押すと、設定を解除します)。 |
| ・オルトキー+0~オルトキー+9 | 指定した番号のショートカットを実行します。 |
| ・オルトキー+P | このアプリの「アプリケーション一覧」ウィンドウを開きます。(このウィンドウを表示している時に、オルトキー+0~オルトキー+9 の操作をすると、各ショートカットに設定されているアプリを確認できます)。 |

[I]音の操作

| | |
|---------------------|-------------------------------|
| ・オルトキー+S | 端末の「音の設定」を開きます。 |
| ・オルトキー+5の点 | オーディオストリームを選択します。 |
| ・オルトキー+6の点 | 選択したオーディオストリームのボリュームを上げます。 |
| ・オルトキー+4の点 | 選択したオーディオストリームのボリュームを下げます。 |
| ・オルトキー+4,6の点 | 選択したオーディオストリームのミュートをオン/オフします。 |
| ・オルトキー+コントロールキー+5の点 | ユーザー補助のボリュームを表示します。 |
| ・オルトキー+コントロールキー+6の点 | ユーザー補助のボリュームを上げます。 |
| ・オルトキー+コントロールキー+4の点 | ユーザー補助のボリュームを下げます。 |

[J]その他の操作

| | |
|-----------------|--|
| ・オルトキー+B | BM スマートターミナルのウィンドウに移動します。 |
| ・オルトキー+セレクトキー+C | アクセシビリティフォーカスのテキスト情報を、スマホのクリップボードにコピーします。 |
| ・オルトキー+F | アクセシビリティフォーカスのテキスト情報を、簡単メモに保存します。 |
| ・オルトキー+セレクトキー+F | アクセシビリティフォーカスのテキスト情報を、BM スマートのクリップボードに送信します。 |
| ・オルトキー+1,2,6の点 | フォーカス位置のテキスト保存を開始します。 |
| ・オルトキー+3,4,5の点 | フォーカス位置のテキスト保存を終了します。 |
| ・オルトキー+W | 表示中のウィンドウのテキスト情報を、簡単メモに保存します。 |
| ・オルトキー+セレクトキー+W | 表示中のウィンドウのテキスト情報を、BM スマートのクリップボードに送信します。 |
| ・オルトキー+J | 表示中のウィンドウのテキスト情報をリスト表示して、選択した項目にジャンプします。 |

| | |
|-----------------|---|
| ・オルトキー＋セレクトキー＋H | 隠された要素の表示／非表示を切り替えます。 |
| ・オルトキー＋セレクトキー＋Y | 表示中のウィンドウのアクセシビリティ詳細情報を、BM スマートのクリップボードに送信します。 *このコマンドで取得できるテキストは、ウィンドウに表示されている範囲に限られます。 |

4. 2 一般アプリのテキスト編集を行う(仮想キーボード使用)

ユーザー補助サービスが追加できないスマホでは、アクセスビューをご利用頂けません。

このような場合も、仮想キーボードが追加できる機種では、テキスト編集ビューを使った、BM スマートからの入力が可能です。

「外部端末の操作」ウィンドウで、[テキスト編集ビューを表示する]ボタンを押して、直接開いてください(このボタンのショートカットは、コントロールキー＋K です)。

テキスト編集ビューは、スマホ側入力欄の内容を全文受信し、編集後に一括置換するように作られていますので、スマホ側のカーソル位置や範囲選択を意識しないで操作できます。

*このウィンドウでは、ヘルプ表示と、操作ヘルプを利用できます。

コマンドキー＋1,2,5 の点で、ヘルプメッセージを表示します。

オルトキー＋コマンドキー＋1,2,5 の点で、操作ヘルプをオン／オフします。

操作ヘルプがオンの状態で、何か操作すると、その操作に割り当てられたコマンドを説明します。

〔テキスト編集ビューの操作〕

テキスト編集ビューでは、以下の操作が可能です。

| | |
|--------------------|---|
| ・オルトキー＋エンターキー | テキスト編集ビューの内容を送信して、スマホ入力欄の選択範囲と置き換えます。 |
| ・オルトキー＋スペースキー | スマホ側入力欄の内容を再取得します。 |
| ・コマンドキー＋2,4,6 の点 | BMスマートのクリップボードのテキストを、スマホのクリップボードに送信します。 |
| ・コマンドキー＋1,3,5 の点 | スマホのクリップボードのテキストを、BMスマートのクリップボードに送信します。 |
| ・オルトキー＋デリートキー | スマホ側入力欄の内容を消去します。 |
| ・オルトキー＋C | スマホ側入力欄の内容を、クリップボードにコピーします。 |
| ・オルトキー＋X | スマホ側入力欄の内容を、クリップボードにコピーし、入力欄を空にします。 |
| ・オルトキー＋V | スマホ側入力欄の内容を、クリップボードの内容で置き換えます。 |
| ・コマンドキー＋1,2,3,5 の点 | 音声認識入力を行います(「5. その他の機能」参照)。 |

4. 3 いろいろな接続方法

Android 端末に「BM スマート アクセシビリティサービス」を組み込んでいる場合は、以下の起動方法もご利用頂けます。

4. 3. 1 ブルートゥースキーボードを使った接続

市販の Android 対応、外付ブルートゥースキーボードを端末に登録しておくと、スクリーンリーダーの操作や、文字入力をキーボードからすばやく行えて便利です。

外付Bluetoothキーボードを接続している場合、以下の操作で、BM スマートターミナルの起動、および BM スマートへの接続ができます。

(A)BM スマートターミナルの起動: キーボードからコントロールキー+オルトキー+B を押します。

(B)BM スマートに接続: キーボードからコントロールキー+オルトキー+D を押します。

(C)ソフトキーボードの選択: キーボードからコントロールキー+オルトキー+K を押します。

4. 3. 2 BM スマート側からの接続

(D)BM スマート側から、Bluetooth接続コマンドで、Android 端末に接続できます。

接続後、Android 端末の画面を BM スマート側からオンしたい場合は、次のように操作します。

(1)BM スマートで、アクセスビューを開きます。

(2)オルトキー+エンターキーを押して、「BM スマートターミナル」を起動します。(この時点で、Android 端末の画面がオンになります)。

(3)ロック画面が表示されますので、ロック解除の操作を行ってください。

*パスワードを入力するには、「ロック解除」ボタンを押して入力欄を開きます。

この後、ナビモードをオフにしてから点字入力し、エンターキーを押してください。

(アクセシビリティサービスが組み込まれていない端末では、上記を行うと、ペアリングのやり直しが必要になりますので、常に Android 側から接続するようにしてください)。

(E)Android 端末の画面右下に[ユーザー補助機能]ボタンが表示されている場合、このボタンを押すことで、前回と同じ BM スマートに接続できます。

(初回操作時には、このボタンを使用するアプリの選択ウィンドウが表示されますので、BM スマートターミナルを選択してください)。

また、ユーザー補助ボタンを Android 側からの接続に使用したい場合は、メインウィンドウの「その他のオプション」メニューを開き、次の項目のチェックを外してください。

「ユーザー補助機能」ボタンを、ウィンドウのテキスト保存に使用する

5. その他の機能

スマホと BM スマートが接続されている時、BM スマートのテキスト編集プログラムで、以下の機能を利用できます。

(1)クリップボード上のテキストデータを相互転送する

| | |
|------------------|--|
| ・コマンドキー+2,4,6 の点 | BM スマートのクリップボードのテキストを、スマホのクリップボードに送信します。 |
| ・コマンドキー+1,3,5 の点 | スマホのクリップボードのテキストを、BM スマートのクリップボードに送信します。 |

(2) 音声認識により、BM スマートにテキスト入力する

以下のように操作すると、スマホ側の音声認識機能を利用して、BM スマートにテキストを入力できます。

- (1) コマンドキー＋1,2,3,5 の点を押して、音声認識を開始します。
- (2) スマホに向かって、入力したい言葉を話します。
- (3) 認識に成功すると、認識結果のリストが、BM スマートに表示されます。
- (4) リストの中に正しい文があれば、エンターキーで確定します。

コントロールキー＋エンターキーを押すと、今回の結果を確定して、次の認識を行います。

認識がうまく行かなかった時は、コマンドキー＋1,2,3,5 の点を押して、やり直します。

この機能は、BM スマートの編集可能なテキスト編集コントロール内で利用可能です。

以上